

# 大崎上島町

## 教材の開発と活用による道徳教育の中身づくりの推進

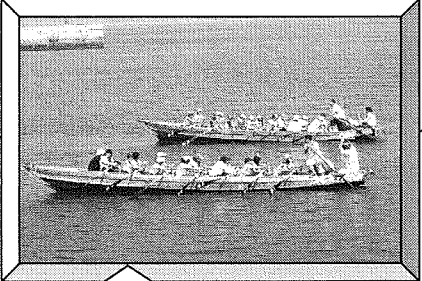
—ともに考えることの大切さを実感できる道徳の授業づくり—

### 地域教材の開発

郷土の伝統・文化 「櫂伝馬」(かいでんま)

大崎上島は、昔、海運業や造船業で栄えていました。櫂伝馬は、14人で漕ぐこの辺りで一番早い船でした。大きな船の水先案内、海賊から人々を守る、緊急時の救急車代わり、遭難した船があれば一番に救助に向かう役目を担っていました。

毎年8月の住吉祭では、海の安全と島の繁栄を願って、各地域から船を出して櫂伝馬競漕が行われています。



地域行事への参加，体験活動での経験から，関心や親しみを持たせる。

### 推進協議会での教材開発PDCA

資料・指導案の検討→検証授業①→改善→検証授業②→改善→

資料，指導案を改善しながら，各学校で，公開授業を実施



グループに分かれて，KJ法での検討会で改善案



### 検証授業を通して，指導力の向上をめざす

伝承者の思いに迫れる資料，効果的な展開（実物，地域人材の活用等）



ペアトークで思いや考えを共感

終末は，地元継承者をゲストに，ポイントを絞って思いを語る。



実際に太鼓を叩いて，演出効果を高める。